

のびてんば 市議会だより

Letter From the Municipal Gotemba City Assembly

もくじ

- 正副議長挨拶・各委員会委員紹介 2ページ
- 代表質問(5会派) 3~5ページ
- 一般質問(8人) 5~9ページ
- 議案の審議結果一覧 9~10ページ
- 本会議の審議状況 11ページ
- 委員会の審査状況 12ページ
- 行政視察報告、新議場紹介 13ページ
- 旧議場について、議長日記、6月定例会の予定 14ページ
編集後記

春

第93号

2017年
4月21日発行

視覚に障がいがある方のための、音声による「市議会だより」もあります。
問い合わせ / 図書館 ☎0550-82-0391



韓国論山市議会産業建設委員会の皆様と「指ハート」ポーズ！

御殿場市議会

Gotemba City Assembly

<http://city.gotemba.shizuoka.jp/gikai/> 発行／御殿場市議会 編集／広報委員会 御殿場市萩原483 ☎0550-82-4323 ☎0550-82-4326

平成29年御殿場市議会新体制

2月に役職等の改選があり、正副議長、各委員会の正副委員長が決まりました。



正副議長挨拶



議長
勝間田 博文
(公明党)

昨今、社会情勢が多様化する中、地方自治体の責務は更に重層化しております。それに伴い二元代表制の一翼を担う議会においても更なる議会機能の充実・強化や議会運営の効率化が求められています。多様な課題にも住民目線に立脚した対応や議会発議の政策提案、条例提案ができますよう、更なる議会改革の布石を打つために、獅子奮迅の活動で邁進してまいります。



副議長
大窪 民主
(創成)

2月の臨時会におきまして、副議長に就任することになりました。議長を適切に補佐し、円滑かつ公平・公正な議会運営に努めるとともに、市民の皆様にかかれた議会になるよう議会改革を進めてまいります。

皆様の温かいご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い致しまして就任のご挨拶とさせていただきます。

各委員会 委員紹介

常任委員会

委員長 大窪 民主
副委員長 田代 耕一
委員 ほか全議員

予算決算委員会

委員長 本多 丞次
副委員長 菅沼 芳徳
委員 杉山 護、平松 忠司、黒澤佳壽子、勝間田博文、高橋 利典

経済環境委員会

委員長 田代 耕一
副委員長 高橋 靖銘
委員 芹沢 修治、高木 理文、杉山 章夫、勝間田幹也、稲葉 元也

総務委員会

議会運営委員会

委員長 勝間田 幹也
副委員長 田代 耕一
委員 土屋 光行、長田 文明

委員長 高木 理文
副委員長 小林 恵美子
委員 杉山 護、杉山 章夫、田代 耕一、平松 忠司、黒澤佳壽子、高橋 利典、稲葉 元也

広報委員会

委員長 長田 文明
副委員長 小林 恵美子
委員 土屋 光行、勝亦 功、神野 義孝、大窪 民主、辻川 公子

福祉文教委員会

委員 本多 丞次、辻川 公子、小林 恵美子、稲葉 元也

新政代表質問

市長の公約について

この度の市長選での市長公約「月々の学校給食費半額」と「第3子以降出産祝い金100万円」の発想の原点、目的、財源、実施時期を現時点でどのように考えているか、以下伺う。

問 「月々の学校給食費半額」について。

答 （市長）現在も、ブランド米ではじめ、しょうゆや豆腐など多くの地場の食材を使った給食を提供しているが、さらに地元の食材を使った給食を提供していくことで、子どもたちが当市への愛着を持つてくれれば、こんなに素晴らしいことはない。公費を投入することは、将来を担う子どもたちに対する投資であるとともに、親への負担を軽減し、子育て支援としての食育、地場産品の振興による経済効果など、三重・四重の効果を期待している。財源は、平成30年度以降の事業と調整を行い、各課に実施に向けた検討を指示する。

問 「第3子以降出産祝い金100万円」について。



答 （市長）当市で暮らす子育て家庭に1人でも多くの子どもを持つてもらい、安心な子育て環境を整え、将来の子どもを増やしたいという思いを込めた。100万円のお祝い金は単に出産時に一括で支給するものではなく、ライフサイクルでの適齢時に、継続的に居住する家庭に対し、段階的に支給できるよう制度設計し、早期に提案したい。「真の子育て支援日本一」を目指し、総合的に「まち」をあげて子どもたちを支えていく取り組みを今後も進めていきたい。



田代 耕一
たけだ けんいち

市民21代表質問

御殿場駅前周辺及び商店の活性化について

駅前周辺の道路整備等のインフラ整備をはじめ、商店街活性化等のソフト事業が進められているが、駅前周辺の賑わいにいかに結びつけるのが課題である。

問 駅前周辺の賑わいについて、未来図をどう描いているのかを伺う。

答 （市長）子どもから高齢者まで、外国人を含む観光客等が街中を歩きながらショッピングを楽しみ、さらには憩いの場として集う場所になりたい。

そのためには、物産展や土産店等の集客施設の誘致を進め、個々の商店は個性的な商品の販売やサービスの実施、ニーズに合わせた商品展開など、店の努力・労力も重要である。

箱根山系の活用について

山なみ林道を活用した富士岡地区、東山・二の岡地区の観光スポットを巡る観光ルート創出について。

問 箱根側に観光ルートを創出する点について所見を伺う。



答 （市長）箱根山系は富士山と調ったような地理的要素を備えている。「山なみ林道」の活用は、様々な角度で富士山を眺めることができる、まさに本市の観光の基となる富士山の恩恵が誘客につながる施策である。

秩父宮記念公園の第2期工事、御東原循環線の整備、山なみ林道の整備を進め、その先に、目標1、500万人の交流人口を目指す。



芹沢 修治
あざわ しげお

改新代表質問



勝間田 幹也

若林市政3期目の行政経営について

市政運営の舵取りを行う上で、1期目2期目で種を蒔き、花を咲かせてきた各施策に対し、咲かせた花が今後どう実を付け、市民がどう享受していくのか。

問 事業推進する上での財源確保について伺う。

答 (市長) 企業誘致をはじめ働く場所の確保や子育て支援策を充実させ、住み続けたいと思えるまちづくりを推進し、民間活力を呼び起こし、自主財源の根幹を成す市税の増収に努める。

また、本市特有の特別で貴重な財源である財産区繰入金に対しても、関係団体と協議し、強固な連携を築き、市と財産区が同じ方向を見据え良好な関係を保っていく。

今後も強い財政力を持った御殿場市を確固たるものとし、未来へとつなげていく。

問 本市の将来像、展望について伺う。



答 (市長) 長期的には、今後とも「人口が増え続け、市民が夢と誇りを持てる御殿場」を目指す。また、日本の象徴富士山の麓で、市民の皆さんが毎日をいきいきと暮らし、多くの方が本市を訪れ、「笑顔と活力が溢れるまち」、「真の子育て支援日本一のまち」を作り上げ、子どもたちが将来に向かつて夢と誇りを持ち、富士山のように大きな心を持った市民に育っていく環境を整える。

本市には、東京オリンピック・パラリンピック開催等の大きな追い風が吹いている。このチャンスに逃すことなく、将来を見据え、市の発展のために全身全霊を捧げ取り組んでいく。

創成代表質問



稲葉 元也

若林市政3期目の姿勢について

問 3期目を迎えた若林市政の今後4年間のビジョンについて。

答 (市長) ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピックの開催、足柄・駒門両スマートインターの開設や道路網の整備、民間誘客施設の増設・新設も計画されている。このチャンスを生かし、4年後の「富士箱根伊豆観光ハブ都市」、「真の子育て支援日本一のまち」を実現させ、笑顔と活力ある御殿場を実現したい。

問 「財政危機宣言」とは。

答 (市長) 財政の立て直しが必須な場合、首長(市長)から議会や市民に向けて宣言する行為。当市は、そのような行為をする状況には全くない。

問 「将来負担比率」は。

答 (市長) 財政の立て直しを求められる基準は350%であるが、当市は直近で77.2%であり、全く健全である。

問 ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致の状況は。

答 (市長) ラグビーは、裾野市と共同で公認キャンプ地に応募した。東京オリンピック・パラリンピックは、ホストタウンの台湾、韓国に期待が持てる。イタリア格闘技連盟やゴルフ競技も期待感がある。



問 外国人観光客への対応は。

答 (市長) これまでの対応に加え、観光協会と商工会による体制の構築と機運の醸成を図っていく。



市民ネット・なでしこ代表質問



辻川 公子

御殿場市の子育て施策について

1月の市長選で若林・石橋両陣営は、子育て世代向け「お約束」を発表し、賛否両論の活発な議論が交わされた。両陣営の主張についてたまたした。

問 第3子以降出産お祝い金100万円は、1年以内に支給されると、多くの市民が認識されていたが、一括支給をするか。

答 (市長) 一括で支給せず、段階的な支給を考えている。

問 ①祝い金だけもらい、すぐ転出されることを防止するため、居住期間制限設定は必要ではないか。

②平成27年度第3子以降誕生167名実績で1億6,700万円の財源が必要であるが、その見込みは。

③「祝い金は、ばらまきと感じる」「100万円で子どもは育たない」「お金目的で子どもは産めない」「不平等」「財源が借金となると、子どもにそのつけがくる」「100万円をもらいたい」と様々な声があったが、市民の理解を得るためには、市民との意見交換が必要ではないか。

答 (市長) 意見交換の場を設け、検証を重ね、財源確保の様々な可能性について、今後研究・協議し、制度設計していく。

問 石橋陣営の各子育てステーションの切れ目のない支援策の一つ、専門学生・大学生への「通学定期代助成事業支援策」について。

答 (滝口副市長) 今後の検討のきっかけとする。「子どもは総子育でしやすいまちの方策を進めたい。」



一般質問

高橋靖銘 議員
新政

スポーツツーリズムによる地域活性化について

問 魅力創造スポーツタウン充実事業の背景及び目的は。

答 (産業部長) 魅力創造スポーツタウン事業は、各種スポーツ大会やスポーツ合宿等の実施効果をさらに拡大するために、スポーツ面・観光面・商業面におけるそれぞれの取り組みをひとつにすることで相乗効果を図り、スポーツ交流の効果を市域全体に波及させることが目的である。

問 同事業の内容及びスケジュールは。

答 (産業部長) 平成28年12月に本事業の推進母体となる「御殿場市地方創生魅力創造スポーツタウン推進連絡会」を市観光協会・市体育協会・市商工会の3団体が連携し立ち上げた。平成29年度は、スポーツ大会の受け入れ可能量を検討するための情報収集を行い、平成29年度以降はスポーツ大会と観光関

連をセットにした商品を開発し、インバウンド旅行社等と連携してスポーツ競技団体等へ売り込みを行っていく。



問 同事業から求める効果について。

答 (産業部長) 本事業では効果の度合いを客観的に評価するため、2つの目標数値を定めている。1つ目は観光交流客数で、平成32年度までに1,500万人を達成すること。2つ目は市内宿泊者数で、平成32年度までに101万人を達成することである。スポーツツーリズムの推進によって宿泊を伴う交流人口及び対流人口のさらなる増加を目指し、地域振興、地域経済の活性化につなげていく。

※インバウンド旅行社……訪日外国人旅行を扱う会社



かずこ
黒澤佳壽子 議員
市民ネット・なでしこ

御殿場市の教育文化振興について

「御殿場市教育振興基本計画」が策定され、「市民・社会総がかり教育」を目指す。勝又教育長は「子どもたちには真つ当な大人になつてほしい。新しい一歩を踏み出すのは他人ではなく、わたしたちであることを意識してほしい」と記している。

問 市民・社会総がかり教育を提唱した背景について。

答 (教育長) 社会経済情勢の変化による様々な問題が発生。時代の要請に沿った教育の使命、責任を果たすために市民・社会総がかり教育が求められる。

問 社会総がかり教育に対する市民の意識向上方策について。

答 (教育長) 周知と実践が必要。社会での自らの役割が意識されるよう、踏み込んだ行動や具体的支援を協議、実践する。



問 当教育と芸術文化活動の振興との関わり方について。

答 (教育長) 市民芸術祭や文化協会催事に加え、次世代対策を推進。環境を整備し、市民が芸術文化に接する機会を増やす。

問 当教育と歴史、文化の継承との関わり方について。

答 (教育長) 地域の歴史文化活動を支援。歴史文化資源の調査保全の拠点や学びの場として資料館は必要と考える。

問 郷土資料館の整備構想について。

答 (企画部長) 市の貴重な歴史文化を伝える中核となり、教育、生涯学習の場としても力を発揮する施設。早期整備を図るため、文化財審議会や庁内検討委員会で実践的検討を進めていく。

地方創生まちづくり事業について



としのり
高橋利典 議員
新政

第四次御殿場市総合計画実施計画の「地方創生まちづくり事業」のうち、富士岡地域の主体的な発案による、まちづくりの先駆的なモデル事業について伺う。

問 人口増加策の見解と具体策について伺う。

答 (企画部長) 富士岡地区については、第三次御殿場市国土利用計画において、移住定住等による人口維持・増加を図るため、JR富士岡駅や南御殿場駅周辺等で、地区計画制度等を活用し、住宅地を創出するとしている。具体策として、東名高速道路駒門パーキングエリア上下線でのスマートインターチェンジの整備等を進め、さらには富士岡支所移転構想の検討に着手する。

問 富士岡地区のまちづくり計画書を今後どのように活用するのか伺う。

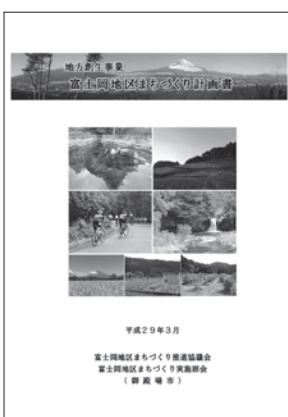
答 (企画部長) 本計画書は地域が主体となり、地方創生まちづくり事業の趣旨にのっとり、今後事業内容や実施時期の精査を行う。

問 富士岡支所移転について、住民の声をどのように受け止めるか伺う。

答 (企画部長) 平成29年度当初予算に、移転構想策定費用を計上した。移転構想等を十分に議論していただき、構想を取りまとめることが先決である。

問 総合的なまちづくりのための開発と組織化をどのように構築するか伺う。

答 (企画部長) 地区の熱い思いを受け止め、庁内の横断的な組織を立ち上げ、地元組織と意見交換を深めたい。



富士岡地区まちづくり計画書



えみこ
小林恵美子 議員
公明党

不育症治療助成について

問 日本の少子化が進展する中、当市は「人口の増え続けるまち」というビジョンのもと様々な観点から努力を続けているが、まずは子どもが産まれなければ人口は増えない。県は、不妊治療と併せ、子どもを望む夫婦への支援を整えるため、妊娠しても流産や死産を繰り返す「不育症」の治療費を一部助成する方針を固めた。

問 不育症に関する当市の現状、認識について伺う。

答 (健康福祉部長) 不育症についての当市の現状は、つかみづらい状況である。不育症の方が直面する問題と、その対処方法について考えることは、少子化が進む中、子どもを持つために有益な方策の一つであると認識している。

問 心のケアも含めた相談体制と周知、啓発について伺う。

答 (健康福祉部長) 安心して問い合わせができる環境づくりと、専門相談機関と連携し、実施医療機関へつなげる体制の構築が必要である。市でのサポートを充実し、不育症に関する正しい知識や専門機関なども紹介し、市民への周知と認識が高まるような情報提供に努める。

問 当市の公的支援についての考えを伺う。

答 (健康福祉部長) まず、不育症に対する的確な情報提供や、専門機関への相談につなげていく体制整備を図る。現在行っている不妊治療助成に加え、不育症治療等に対する助成制度についても前向きに検討していく。



じんの よしたか
神野義孝 議員
新政

ラグビーワールドカップ、東京五輪ラグビー競技の合宿誘致について

問 当市は、平成31年のラグビーワールドカップの公認キャンプ候補地に裾野市と共同で応募し、東京五輪ラグビー競技も事前合宿の誘致を目指している。

問 合宿誘致の意義は。

答 (産業部長) 選手とのスポーツ交流、国際交流機会の創出、スポーツツーリズムによる経済効果、宣伝効果が期待できる。この大きなチャンス地域活性化、スポーツによるまちづくりにつなげていきたい。

問 子どもたちへのラグビー普及のための方策は。

答 (産業部長) 市内小学校にタグラグビーセットの寄贈があった。学校のクラブ活動や体育授

業の選択肢のひとつとして、取り入れられる状況にしていける。また、キャンプ誘致をきっかけとして、ラグビー教室やトップ選手との交流の場を設けるなど、ラグビーの普及を図っていく。

問 ラグビーワールドカップの合宿誘致への取り組みは。

答 (産業部長) 裾野市と共同して協議組織を立ち上げ、地域全体で誘致に向けて取り組みを進めていく。両市にある民間施設を含めた既存のトレーニング・宿泊施設を活用する。

問 東京五輪ラグビー競技の合宿誘致への取り組みは。

答 (産業部長) 来年度も裾野市と女子ラグビー大会の開催を誘致し、ラグビーワールドカップに続き、東京五輪ラグビー競技合宿誘致の成功をつかみたい。



タグラグビー用具
(ボール、タグベルト、タグ)

※タグラグビー……激しい身体接触がない簡易ラグビー。タックルの代わりに腰に付けたタグを取る。



まさひろ
高木理文 議員
無会派(日本共産党)

「特別徴収税額通知書」へのマイナンバー記載の問題点について

問 市から普通郵便で事業主に送る「特別徴収税額通知書」に個人番号が記載される。個人の意思で事業主に番号を提供しなくても事業主が知り得ることになるが、見解は。

答 (総務部長) 地方税法や番号法の規定に基づくものであり、個人番号の取り扱い違反に対しては重い罰則規定もある。

問 一方的に個人番号を通知される事業者リスクについては。

答 (総務部長) 事業者は国のガイドラインに沿って適切な対応をとる。情報漏えい等のリスク対策は事業者の責任で行う。

問 通知カードは簡易書留であった。総務省も自治体が番号を記載しないことへの罰則はないと表明している。情報漏えいリスクのある個人番号の記載はやめべきである。見解を伺う。

答 (総務部長) 法令及び総務省通知等に基づき、個人番号を表示した通知書の送付を実施する。

上水道事業アセットマネジメントの課題について

問 水道事業は、配水管や施設が近い将来に耐用年数を迎える。アセットマネジメント(資産管理)では市独自の施設等の更新基準をつくり、水道料金の改定時期や改定率を予測している。担い手の人材育成と料金負担軽減について伺う。

答 (環境水道部長) 職員育成に努め、必要な職員を確保していく。合理的で適正な施設更新で更新需要の縮減を図り、水道使用者の料金軽減につなげていく。



日々の運転管理や点検調査には職員の育成が欠かせない。



ふみお
長田文明 議員
新政

発達支援の今後の方向性について

平成17年施行の発達障害者支援法で、それまでの障害者支援に関する法律では、対象となっていなかった発達障害の人も対象となった。平成27年に当市は発達支援システム基本指針を策定、翌28年4月に市民交流センター内に発達相談センターを開設した。

問 発達相談センター開設後、10カ月が経過したが、利用者の相談状況と、当市の発達支援の現状は。

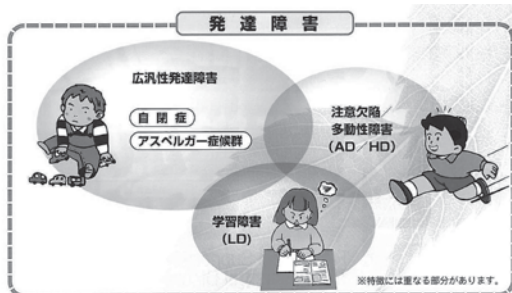
答 (健康福祉部長) 相談件数は、平成28年同時期と比較し、191件(約2割)増加している。当市全体の発達支援は、健康福祉部・教育部・市民部にまたがる支援体制を築き、外部の支援機関ともネットワークを構築している。

問 発達支援の現状から、今後の方向性をどのように捉えているか。

答 (健康福祉部長) 平成26年に、県知事に対し、東部地区へ医療療育施設の設置を求める要望書を提出した。県東部地域は、医療・相談支援体制の強化が急務となっており、発達障害者支援センターの充実と合わせて、優先的に取り組むべきであるとしている。

問 民間が実施する発達支援センターへの支援について、市の関わり方は。

答 (健康福祉部長) 市内の民間医療機関から、課題となっていた医師の確保や、設置場所等に目途がつき、発達支援センター建設の提案があった。県東部の住民も望んでいる施設であることから、県や東部市町と連携し、できる限りの支援をしていきたい。



発達障害の分類と特徴
同じ種類の発達障害であっても、症状はさまざまであり、症状は人によって異なる。



みつゆき
土屋光行 議員
市民21

御殿場市子ども条例行動計画の策定と課題等について

問 子ども条例行動計画策定の意義について伺う。

答 (教育部長) 県内に先駆けて取り組んだ施策だが、「御殿場市子ども条例」に基づく行動計画は、子どもたちを社会総がかりで育てる活動を推進し、地域の子どもを育む機運の更なる醸成と、地域づくりの進展を図ること、さらにこの環境の中で育まれた深い郷土愛を持った子どもたちにより、御殿場の未来が創造されることを期す等、住民自治の原則に大きく沿った取り組みであることに深い意義がある。また、こうした施策を積極的に条例化し、計画の安定性と継続性を図ったところにも、大きな意義がある。

問 計画の策定と実効性の確保のための諸課題について。

答 (教育部長) 計画の策定においては、関係機関の考えを重視し、さらに庁内討議を重ね、パブリックコメントを受けて進めてきた。また、この行動計画の推進に関する関係組織の見直しや市の機構改革等の必要性については、まずは現状の体制で計画の推進にしっかりと取り組み、今後の状況によって関係組織や市の組織機構について検討していく。

問 計画の共有化と実効性を高めるために、行政と市民関係団体等の参加による「子育て教育フォーラム」の開催を提案するがいかがか。

答 (教育部長) 住民自治の考え、子ども条例の理念に合致し、社会教育・生涯学習の広い分野を包括する意味の、大変企画性の高い事業提案として受け止める。



議案の審議結果一覧

平成29年 第1回臨時会

【全会一致で可決等された議案】

(条例)

・御殿場市都市公園条例の一部を改正する条例制定について

(承認)

・専決処分の承認を求めることについて(御殿場市表彰(篤行表彰)について)

平成29年 3月定例会

【全会一致で可決等された議案】

(補正予算)

- ・平成28年度御殿場市一般会計補正予算(第4号)について
- ・平成28年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)について

(予算)

- ・平成29年度御殿場市簡易水道特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市観光施設事業特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市救急医療センター特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市公共下水道事業特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市介護保険特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市農業集落排水事業特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市公設浄化槽事業特別会計予算について
- ・平成29年度御殿場市上水道事業会計予算について
- ・平成29年度御殿場市工業用水道事業会計予算について



議案の審議結果一覧

(条例)

- ・御殿場市鳥獣被害対策実施隊設置条例制定について
- ・御殿場市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- ・御殿場市東山青少年広場の指定管理者の指定について

(その他)

- ・市道路線の廃止について
- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の変更について

(人事)

- ・御殿場市外1組合公平委員会委員の選任について
- ・御殿場市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- ・静岡県芦湖水利組合議会議員の選挙について

(報告)

- ・専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)

(議員提出)

- ・御殿場市議会委員会条例の一部を改正する条例案の提出について

【本会議で賛否が分かれた議案】

○賛成 ×反対 ※議長(勝間田博文)は採決に加わりません。

議員名(議席順)	杉山護	芹沢修治	土屋光行	高橋靖銘	長田文明	高木理文	本多丞次	杉山章夫	勝亦功	神野義孝	田代耕一	大窪民主	勝間田幹也	菅沼芳徳	平松忠司	黒澤佳壽子	辻川公子	小林恵美子	勝間田博文	高橋利典	稲葉元也
議案・結果																					
平成29年度御殿場市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
平成29年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○
平成29年度御殿場市後期高齢者医療特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○
御殿場市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○
御殿場市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○
御殿場市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○

【予算決算委員会で賛否が分かれた議案】

○賛成 ×反対 ※委員長(大窪民主)は採決に加わりません

議員名(議席順)	杉山護	芹沢修治	土屋光行	高橋靖銘	長田文明	高木理文	本多丞次	杉山章夫	勝亦功	神野義孝	田代耕一	大窪民主	勝間田幹也	菅沼芳徳	平松忠司	黒澤佳壽子	辻川公子	小林恵美子	勝間田博文	高橋利典	稲葉元也
議案・結果																					
平成29年度御殿場市一般会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度御殿場市国民健康保険特別会計予算について	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	○

本会議で行われた議案審議の中から、主なものを掲載します。

平成29年度御殿場市一般会計予算について

問 市議会ICT化推進事業について、予算100万円とあるが、今後どのように考えているのか。

答 議会の見える化や、議員活動の活性化等を推進するため、議員による「市議会ICT化推進委員会」を設置して、調査・研究を重ねてきた。議員総意のもと基本計画の策定等を経て、議会へのタブレット端末導入経費として100万円の予算措置をした。

全体で年間430万円余の事業費を見込んでおり、今後はセキュリティ関係等の使用基準を確定させ、早期導入を目指す。

問 高齢者等タクシー及びバス助成事業は、平成28年12月1日から助成券の申請受付が始まったが、申請状況は。

答 現在の申請者数は777人で、この内、助成券を交付した人数は716人。本制度で助成対象とした70歳以上の高齢者の約5%程度に交付した状況である。

問 スポーツツーリズム推進事業の事業内容は。

答 本事業には、①地方創生魅力創造スポーツタウン充実事業と②スポーツツーリズム支援事業の2つがある。

①は、市体育協会・市商工会・市観光協会の3団体で立ち上げた「地方創生魅力創造スポーツタウン推進連絡会」への交付金。平成29年度は、市内スポーツ施設・宿泊施設・飲食店舗の情報競技関係団体へ売り込む等、情報を発信する体系づくり等を予定している。

②は各種スポーツ大会イベントに関連する負担金やスポーツツーリズムを推進するための宣伝・広告等PRに対する費用である。

問 平成29年度における放課後児童クラブの教室数、利用児童数の予測は。

答 放課後児童クラブは、現在10校区20クラブあり、平成29年度は3月1日時点で861人の当初受け入れを決定している。

これまで、4年生以上の高学年が常以待機となっていた御殿場小学校区でも、新たに民間施設が借用できる見込みで、詳細について所有者等と協議を重ねている。なるべく早期に稼働できるよう進めていく。

問 雇用創出促進奨励金事業は、市民への雇用機会提供のための助成事業とあるが、詳細は。

答 市内で1億円以上の建物の増改築や設備投資を行い、新規雇用等が15人以上増えた企業に対し、新規雇用1人当たり50万円、異動等で他市町から当市に移住した従業員1人当たり25万円をそれぞれ合算し、最大2億円までを補助する制度。

対象業種は工業系の業種のほか、商業系の複合型施設や宿泊施設、博物館などの観光施設など、県内他市町に比べて幅広い業種を対象としているのが当市の特徴である。

問 生活道路整備事業について、地元要望が多い中、平成28年度予算より6路線2,900万円減額した理由と次年度以降の見通しは。

答 平成32年度に開通予定の新東名高速道路等の広域道路整備に加え、東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されていることから、インターチェンジ周辺道路である団地間連絡道路等の整備を確実に進めなければならず、予算の重点配分を幹線道路整備に移したため減額となった。

次年度以降は、限られた予算の中で、市民の生活環境向上が期待できる通学路や住宅地等を特に優先路

線とし、各地区の地域住民の意見を伺いながら、順次整備を進める。

問 魅力ある学校づくり調査研究事業の内容と期待される効果、今後の事業展開は。

答 各校で行っている、児童生徒の不登校に対する対応や取り組みが、各校の現状に即しているかを改めて検証し、客観的資料に基づいて調査研究を行う事業。

平成29年度は御殿場西中学校区をモデル校区として調査研究を行い、平成30年度に検証結果を市内各校に伝え、各校の不登校に対する取り組みが、各校の実態にあった対策となることを目指す。

問 (仮称)富士山市民のサロン整備事業の内容と利用対象者の年代見込みは。また、今後の展望は。

答 平成30年度の供用開始を目指す(仮称)富士山市民のサロンの先行モデル事業として、駅前BEI ONEビル3階に、中高生の学習スペースや囲碁将棋ができるコーナー、故鳥宮暁秀先生の書道作品の展示、市民の作品発表の場等、幅広い年代の利用を想定したふれあい交流の場を開設する。

開設準備が整い次第供用を開始し、利用者のニーズを探りながら、(仮称)富士山市民のサロンへとつなげていく。

委員会の審査状況

各委員会で行われた審査の中から、主な質疑の内容をお知らせします。

予算決算委員会

総務分科会

平成29年度御殿場市一般会計
予算について

問 個人市民税の納税義務者数と、法人市民税の法人数を増加と見込んだ背景は。

答 前年度課税実績に基づき、納税義務者数と法人数の増加を見込んだ。

問 高齢者等タクシー及びバス助成事業で、世帯の実情に沿った交付対象に見直す考えは。

答 協議会で協議のうえ、交付対象や金額等の見直しも含め、検討していきたい。

問 消費生活相談の傾向は。

答 オレオレ詐欺など犯罪やそれに近い詐欺事件、インターネットのワンクリック詐欺等の相談が多い。

平成29年度御殿場市国民健康
保険特別会計予算について

問 賦課限度額の見直しによる影響は。

答 今回は税率改定も併せて実施しており、世帯の加入状況により異なる課税となるため、単に課税限度額を超える世帯が減ることにはならない。

問 予防事業に対する考え方と今後の取り組みは。

答 医療費の適正化と縮減の面で予防事業は重要であると考えており、今後は被保険者の健康に対する意識を高め、特定健康診断・特定保健指導事業の推進を図っていきたい。

福祉文教分科会

平成29年度御殿場市一般会計
予算について

問 市民交流センターに、新たに整備される駐車場の詳細は。

答 市民交流センター道向かいの土地（約2千平方メートル）に、約60台が駐車できる駐車場を整備予定である。

問 平成29年度から実施される「新生児聴覚スクリーニング検査費用助成事業」について。

答 これまでは任意検査であったため、全額個人負担となっていた。検査費用の公的助成により、受診率の向上につなげたい。

問 外国人児童生徒適応指導事業の概要と予算増額の要因は。

答 外国人児童生徒の日本語習得や学習支援等を行うもので、学校からの要請により、スペイン語対応の指導員の勤務時間を増やしたことが増額要因である。

問 魅力ある学びづくり推進事業の方向性は。

答 現在、御殿場小・御殿場南小・原里小・富士岡小の4校に1人ずつ事務補助者を配置しているが、新たに御殿場中学校にも1人配置する。今後も教職員の多忙化解消を図っていきたい。

経済環境分科会

平成29年度御殿場市一般会計
予算について

問 グリーンツーリズム推進事業の内容と課題は。

答 収穫等体験事業が主であり、参加者及び事業内容が固定化されてきていることが課題となる。民間活力を含めた他団体との連携・調整を図り、新たな事業展開を行ってきたい。

問 全国椿サミット御殿場大会事業の民間団体との関わり方は。

答 民間団体中心の作業部会を設置、また、緑きさらさら推進協議会加入団体を母体とした準備委員会を設けるなど、官民が連携して御殿場らしい大会となるよう素案をつめていく。



総務委員会

御殿場市国民健康保険税条例の
一部を改正する条例制定について

問 税率改定に至るまでに実施してきた具体的対応は。

答 特定健診の受診率向上や、医療費通知の実施、ジェネリック医薬品に係る関係機関との協議等により、医療費の縮減と適正化を推進してきた。

問 資産割を引き下げた影響は。

答 一例として、世帯の所得が低く、加入被保険者数が少ない状況で固定資産税額が高い世帯では、税額が改定前と同額もしくは減額する可能性はあるが、全体では概ね全ての所得階層で平均的に増額する見通しである。

福祉文教委員会

1月19日～20日

長野県塩尻市では、「塩尻市市民交流センター（えんぱーく）の概要と図書館の取り組み」について視察した。

市民交流センターの主要施設として図書館がある。子育て支援センターと図書館児童コーナーが隣接しており、利用が容易である。市の商工まちづくり部門、ハローワーク、商工会議所、イベントホールがあり、図書館を中心として活動支援できる環境にある。通常の業務体制とは別に、多文化サービス、シニア活動支援サービス、市民活動支援、青少年交流、子育て応援、医療健康情報提供、ビジネス支援等に取り組んでいる。

長野県富士見町では、「富士見町高原のミュージアムの概要と図書館の取り組み」について視察した。

富士見町高原のミュージアムは、博物館、図書館、公民館の複合施設であり、正規・臨時職員、計10名だけで年間41事業を企画運営している。館内に授乳室を設け、本だけでなく、ぬいぐるみを貸し出している。冬季にはこたつを設置するなど、世代に応じた居心地の良さや、利用しやすさに配慮されている。

長野県安曇野市では、「安曇野市立豊科図書館の概要と取り組み」について視察した。

図書館運営の特徴として、①全館どこでも返却可能 ②市外図書館との相互貸借 ③学校等への団体貸出 ④対面朗読、郵送貸出の実施

等がある。図書等にICタグを取り付け、自動貸出機を導入したことにより、業務の迅速化、無断持出しを防ぐことに役立っている。図書館を複合施設内に設計し、利用者の利便性に配慮することは当市にとっても有効な施策であり、大変参考になった。

福祉文教委員長 長田 文明



富士見町高原のミュージアムぬいぐるみ貸出コーナー
(長野県富士見町)



新しい議場を紹介！

庁舎東館の新設に伴い、議場が新庁舎に移りました。新しくなった設備を活用し、市民の皆様の生活に深く関わる議題について、引き続き審査・議論を重ねていきます。



傍聴をお待ちしています

誰でも傍聴をすることができます。庁舎東館3階の議会事務局で受け付けをし、4階の傍聴席で議場の上段から議会の様子を傍聴できます。ぜひお気軽にお越しください。



傍聴席に机ができました！是非ご活用を！



モニターにより、傍聴席から発言者の顔が見えるように！

議長日記

平成29年3月7日、御殿場市と友好交流協定を結んでいる、韓国論山市議会産業建設委員会の皆様が当市に来訪され、懇談会を行いました。議長として歓迎のあいさつをし、懇談会は論山市との親交が深まる良い機会となりました。

今後、両市間の多方面にわたる交流促進を期待すると共に、当市の更なる発展に寄与するため、引き続き市議会議員一同尽力してまいります。



長年の歴史に幕… ～ありがとうございました～

昭和47年から使用してきました旧議場は、新設された庁舎東館への議場移転に伴い、平成29年3月定例会をもって長年の歴史に幕を閉じました。

今まで足を運んでいただいた皆様、ありがとうございました。新議場でも皆様の傍聴をお待ちしております。



6月 定例会の予定

6月定例会は6月8日から20日までの13日間です。
時間はいずれも午前10時からです。

20(火)	16(金)	15(木)	6/8(木)
一般質問	一般質問	一般質問	提案理由説明・補正予算 条例等審議

* 正式な会期日程は直前の議会運営委員会で決定されます。
詳しくは御殿場市議会事務局へお問い合わせください(市議会ホームページにも掲載しています)。
* いずれの日も傍聴することができます。

当日、市役所庁舎東館3階の議会事務局で受け付けをしますので、お気軽にお越しください。



編集後記

昭和47年に建てられた議場での最後の議会となり、最終日には特別な感慨がありました。

3月定例会についての市民の皆様への関心は、「若林市政3期目の施政方針や各種予算、条例案等について議会が住民代表の機関として役割を果たすことができたのか」ではないかと思います。

新メンバーでスタートした広報委員会では分かりやすく伝わる「広報」と住民の声を汲み上げる「広聴」の対話型コミュニケーションを模索してまいります。

4月から東館新議場の運用が始まり、6月定例会からはネットでの映像配信も予定しています。

皆様のご感想やご意見をはじめ、議会へのご要望もお気軽に寄せてください。

委員長 高木 理文

御殿場市議会広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 文子護 |
| 副委員長 | 理美恵 |
| 委員 | 高木 理文 |
| 委員 | 小林 山 |
| 委員 | 高杉 葉山 |
| 委員 | 高杉 黒田 |
| 委員 | 高杉 代平 |
| 委員 | 高杉 橋 |
| 委員 | 高杉 利典 |



ご意見ご質問は議会事務局へ

Tel.0550-82-4323 Fax.0550-82-4326

御殿場市議会

検索

市議会だよりには再生紙を使用しています。印刷/(株)御殿場印刷所

〒412-8601 御殿場市萩原 483